

日本の水産業

名前

学習日

ポイント

- ① 日本の漁業生産量は減少してきている。
- ② 漁業には遠洋、沖合、沿岸の漁業のほか、養しよく、さいばい漁業などがある。
- ③ 「育てる漁業」は少しずつ生産量をふやしてきている。

基本問題



次の問いに答えなさい。

- (1) 日本の近海は寒流と暖流がぶつかり合い、魚のえさとなるプランクトンが豊富にあるので、めぐまれた漁場になっています。これについて、次の問いに答えなさい。

- ① 寒流にはリマン海流、千島海流があり、千島海流は（ ）ともよばれます。

（ ）に入る適切な言葉を答えなさい。

- ② 寒流でとれる魚に何がありますか。下のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

- ③ 暖流には対馬海流、日本海流があり、日本海流は（ ）ともよばれます。（ ）に入る適切な言葉を答えなさい。

- ④ 暖流にはどのような魚がいますか。下のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

ア かつお    イ さんま    ウ かれい    エ あじ

- (2) 次は、日本の最近の漁業について説明した文です。それぞれどの漁業のことか、あとのア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① わが国で最も生産高が多いが、近海の魚が減り、1990年代になって急げきに生産量を落としている。

- ② 世界の海では水産資源を保護するために、自国の沿岸から200海里のはんいでの外国の漁船のそう業が制限を受けるようになり、急げきに生産量が落ちている。

- ③ 10トン未満の船で日帰りで行う漁業で、1990年ごろから少しずつ生産量を落としている。

- ④ わが国の漁業生産量のほぼ20%をしめている。生産を調整できるが、生産をふやしすぎて値段が下がることもあり、計画性が必要である。

ア 遠洋漁業    イ 沖合漁業    ウ 沿岸漁業    エ 養しよく漁業

日本の水産業

名前

学習日

チャレンジ問題

1

次の問いに答えなさい。

- (1) 現在のわが国の漁業の生産量は、最も多かった1984年のおよそどのていどになっていると思いますか。次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 8割くらい    イ 7割くらい    ウ 6割くらい    エ 半分以下

- (2) わが国の漁業生産量が低下した理由として、次のうち不適当なのはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア 外国でそう業可能な漁場が制限されるようになった。

イ 輸入する魚がふえてきた。

ウ 漁業につく人の数は、若い人はふえているが、全体として減ってきた。

エ 魚より肉を好む食生活になってきた。

- (3) 次の漁業を、わが国において生産量の多いじゅんばんにならべ、記号で答えなさい。

ア 遠洋漁業    イ 沖合漁業    ウ 沿岸漁業    エ 養しよく漁業

2

次の問いに答えなさい。

- (1) 「育てる漁業」といわれる漁業について、次の問いに答えなさい。

- ① 稚魚や発芽した苗をいけすや海中のしせつで大きくなるまで育てる漁業を何といいますか。答えなさい。

- ② 稚魚などを海や川に放し、そこで育ててとる漁業を何といいますか。答えなさい。

- ③ しんじゅはどちらの方法で育てられていますか。①、②の番号で答えなさい。



- (2) とれた魚を市場に届けるためにいろいろな工夫がされています。これについて、次の問いに答えなさい。

- ① どのような工夫がされていますか。答えなさい。

- ② ①で答えた工夫がされているのはなぜですか。答えなさい。

日本の水産業

【基本問題】

解 答	ア ド バ イ ス
<div></div> <div>(1)① <small>おやしお</small> 親潮</div> <div>② イ, ウ</div> <div>③ <small>くろしお</small> 黒潮</div> <div>④ ア, エ</div> <div>(2)① イ</div> <div>② ア</div> <div>③ ウ</div> <div>④ エ</div>	<div></div> <div>(1) 暖流と寒流とで魚の種類がちがってきます。</div> <div>(2) ①の沖合漁業は1984（昭和59）年には約700万トンの生産がありましたが、2009（平成21）年には約242万トンに落ちこんでいます。②この沿岸から200海里（約370km）のはんいを「<small>けいざいすいいき</small>経済水域」といいます。</div>

日本の水産業

【チャレンジ問題】

解 答	ア ド バ イ ス
<div>1</div> <div>(1) エ</div> <div>(2) ウ</div> <div>(3) イウエア</div> <div>2</div> <div>(1)① 養しよく漁業</div> <div>② さいばい漁業</div> <div>③ ①</div> <div>(2)① (解答例)</div> <div>・保冷トラックを使う。</div> <div>・遠くの市場に届ける際に飛行機<small>ほれい</small>を利用する。</div> <div>② (解答例) 魚のせん度を保つため。</div>	<div>1</div> <div>(1) 1984 (昭和59) 年約1282万トン, 2009 (平成21) 年約543万トンなので半分以上。</div> <div>(2) 若い人も少なく, 漁業の担い手<small>にな</small>を育てることも課題になっています。</div> <div>(3) 1970 (昭和45) 年には, 遠洋漁業の生産量が最大でした。</div> <div>2</div> <div>(1) 漁業生産量が低下するなかで, 魚をとるだけの漁業から魚を育てる漁業に変えていくことも期待されています。それが養しよく漁業, さいばい漁業です。</div> <div>(2) とれた魚を市場に届ける際には, 魚のせん度を保つため, 少しでも早く届ける工夫がされています。</div> <div>トラックなどで運ぶ場合には, 道路の混雑情報に気を配るなどしています。</div>